



ももの実



玉北中 校長だより 22

「祝」号

令和7年6月2日（月）

大変おめでとうございます。

この度、本校第10代校長の中村哲之先生が、長年にわたる教育界への貢献を認められ、国（内閣府）より『瑞宝双光章』という勲章（写真左）を受章しました。私（石井）は5月3日（土）の午前、本校校長室にて岡本佳久教頭先生とともに伝達式を行い、勲章と花束をお渡ししました。

中村先生は、長尾にあった旧校地から現在の地に本校が移転する際、本校の校長として教育委員会と協力しながら地域の理解が得られるよう、ご尽力下さいました。式後、少しでも私たちと一緒に校内を巡った中村先生は、懐かしそうに当時を振り返っていました。当時は学年4学級ということで、現在の規模を知った時には大変驚いていらっしゃいました。

中村先生、この度の受章、誠にありがとうございます。謹んでお祝い申し上げます。



「おはようございます。」

5月7日（水）の早朝には、『あいさつ運動』が行われました。令和7年度最初の実施です。

この日は、倉敷市教育委員会からも職員の方が来校し、各学年の生活委員や本校の先生方と一緒に活動をして下さいました。途中、PTA広報部の方が、PTA新聞に掲載する写真を撮りに来られていました。（お世話になります。）

今回は6月11日（水）を予定しています。お互いに気持ちのよい元気なあいさつができると良いですね。



授業の様子をお伝えします。



ゴールデンウィーク明けの授業日、朝一番に校内を巡ってみました。どの学年でも5月中旬にせまった学校行事に向けての準備や、学習に取り組んでいました。

1年生では自然教室における班の係決め、2年生では神戸研修での活動分担、そして3年生では、DVD

視聴による平和学習をしていました。

その他、学級目標に関する掲示物を協力しながら作成している場面、ICTを活用している、あるいはグループで学習課題について協議をしている場面等、いろいろな学びの姿を観ることができました。

連休明けでしたが、集中力を欠いた生徒は少なく、さすが玉北中だなと感じました。

